

緑化だより

No.113 平成28年1・2月合併号



サザンカの花に降霜

- 緑化センターの希少な樹木(20)
- 野鳥の世界(イソヒヨドリ)
- 病虫害の話
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内

新年は1月5日(火)から開園します



ryokka 緑字の未来

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp

緑化センターの希少な樹木

No. 21 コブクザクラ (子福桜) とマンサク

コブクザクラは白色、八重咲きで、小型の花が秋から春まで咲きます。花は咲き進むとピンク色を帯び、二色の花が咲いているように見えます。コブクザクラの雌しべは一つの花に二本以上ある場合が多いので、一つの柄に何個かの果実がつきます。子福桜という名は、この様子を多くの子宝に恵まれる様子に見立てたものと言われています。秋から春にかけて咲く桜は緑化センターでは他に十月桜がありますが、十月桜の花弁は常時ピンク色で20枚以下ですが、子福桜は白色で咲き進むにつれてピンク色になり、花弁は20~50枚です。がく片の鋸歯は、十月桜は浅く目立ちませんが、子福桜は粗い鋸歯が目立ちます。樹木見本園入口右に2本あります。



コブクザクラ

マンサクは、枝いっぱいにながら花が咲くことから「満咲く」、あるいは「満作」、「万作」など豊年満作を願う気持ち、北国での「まんず咲く」というまだ浅い春に咲いた花の「厳しい冬が終わりをつげている、春はもうすぐ」という明るいお知らせ、など名前の由来には諸説あるようです。緑化センターでは、管理事務所につながる途中の右にあるアテツマンサクがよく知られていますが、レストハウスの右下の奥にマンサクもあります。アテツマンサクのがく片は黄色ですが、マンサクのがく片は暗紫色です。(川上)



マンサク

野鳥の世界

イソヒヨドリ

ヒヨドリと同じくらいの大きさの野鳥です。山間部の樹林では見かけることはなく、その名のごとく本来は海岸周辺に棲みついて繁殖します。近年は市街地のビルなどの建築物などでもサエズリをしていることがあります。餌の見つけやすい開けた場所を好むためかもしれません。かなりの悪食で、フナムシ、毛虫、甲虫など構わず餌にします。子育て中の給餌も、トカゲや



イソヒヨドリ

バッタ、蛾、大型のイモムシなどで、ヒナ鳥も与えられた餌を丸飲みします。

そのサエズリは雄も雌も大きく、表現しにくいほど複雑ですが、美しい声でよく響きます。繁殖期の鳴き交わしは知らずに聞くと野鳥とは思えないほど名調子です。繁殖期以外は群れを組まず単独行動をするため、その姿を見ることは少ないのですが、海岸線の岩場や防波堤などで見つけることがあります。高い場所にとまる習性があり、雄鳥は美しく目立つため見つけやすい鳥です。(吉見)

病虫害の話

むしこぶ

ケヤキ、クスノキ、サクラなどの葉にこぶがある。フジの蕾が数珠のような丸い玉になりぶら下がっている。枝の一部が肥大している。新芽が丸く肥大している等を見ることがあります。割って中を見ると、小さな虫を見つけることがあります。このようなこぶは、アブラムシ、タマバエ、シラミ、アザミウマなどが原因です。これら昆虫によるこぶを虫えいともいいますが、昆虫だけではなく、ツツジやツバキ類に発生するもち病(担子菌)、バラなどの株の根元にできるがんしゅ病(細菌)、フジの幹にできるこぶ病(細菌)など菌類、ダニ、センチュウが原因で植物の一部が膨らむことがあります。その場合、虫えいという呼び方は適当でないため、合わせてゴールと呼ばれることがあります。

虫えいは、サクラ、マツ、ヤナギ、ブナ、ニレ、ヘクソカズラ、ヨモギなど多くの植物に発生しますが、よく見られるは、イスノキやヌルデです。イスノキでは数種類の虫こぶが見られます。アブラムシの種類によりそれぞれ形状が異なり“ハタマフシ”、“エダタマフシ”、“エダナガタマフシ”などがあります。イスノキの虫こぶで作った「ひよん笛」は、子供の頃“ピーピー、ヒューヒュー”吹いて遊んだことのある方も多いと思います。アブラムシがヌルデに作る“ヌルデミミフシ”は五倍子と呼ばれ、タンニンを多く含むため古来より、染料、インク、皮をなめす原料、せき・痰の民間薬として利用されています。又、江戸時代までお歯黒の材料としても使われました。(山根)



フジツボミフクレフシ



イスノキハタマフシ



イスノキエダナガタマフシ



五倍子をついばむコゲラ(久保氏提供)

研修会のご案内

- | | |
|---------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| ○ 1月 7日(木) 『春の七草教室』
間違えると危ない七草に良く似た植物について学び、七草粥を試食します
※ 要予約(先着30名)、無料 | 10:00~12:00 学習室 集合
講師：緑花文化士
横山 直江 |
| ○ 2月 20日(土) 『ジャンボ椎茸植菌教室』
植菌体験。ほだ木は持ち帰り、家庭で栽培できます
※ 要予約(30名) 材料費500円
1月5日より受付 | 10:00~12:00 学習室 集合
講師：日本きのこセンター三次支所長
影井 和男 |
| ○ 3月 11日(金) 『コケの観察会』
早春のコケを観察しよう | 10:00~12:00 学習室 集合
講師：広島大学名誉教授
関 太郎 |
| ○ 3月 26日(土) 『春の接木教室』
接木の講習と実技
※ 要予約 材料費500円 ナイフ持参 | 10:00~12:00 学習室 集合
講師：NPO法人 樹木医ひろしま
理事長 溝口 幸平太 |
| ○ 3月 27日(日) 『早春のバードウォッチング』
野鳥の採食パターンを観察します | 10:00~12:00 管理事務所前 集合
講師：日本鳥類保護連盟 会員
吉見 良一 |
| ○ 3月 30日(水) 『3月の自然探勝』
芽立ちを観察しよう | 10:00~12:00 管理事務所前 集合
講師：環境省希少野生動植物
種保存推進員
吉野 由紀夫 |

◎ 展示会

場所:レストハウス

(ガラスケース展示)

・つづらふじ手作りカゴ作品展

～ 1月11日(火)

・バードカービング作品展

1月14日(木)～3月21日(月)

(ボード展示)

・緑化センター写真コンクール応募作品展

～ 1月27日(水)

・緑化ポスター原画コンクール入賞作品展

2月 3日(水)～ 3月13日(日)

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

きのこアドバイザー 川上嘉章は平成27年12月末をもって退職致しました。今後、きのこの鑑定・御相談は下記にご連絡ください。

広島きのこ同好会事務局 川上嘉章

広島市安佐南区中筋3-25-16 TEL,FAX 082-548-0499

E-mail: f3t23cr5@ene.megaegg.ne.jp



緑化センター写真コンクール応募作品展



前回のバードカービング作品展より